

生ける水

発行者
日本福音教会連合
岡山市北区丸の内
1丁目11番15号
理事長 倉賀野 攻
編集 太田 正信

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38

目次

- P.1 恩寵の経験を与える説教 …… 佐々木寛治
- P.1 時の声
- P.2~3 いのちの雫 …………… 中島 政幸
- P.2~4 夏季聖会出席者の……
大川百合子、加藤信治、渡辺隆
岡田悦子、稲田陽子、阿部孝子
- P.4 報告・案内 etc ……

『恩寵の経験を与える説教』

に買かれた郷家師説教



つて溢れる聖化の喜び。
最後に新聖歌三八〇番『人に捨てられて』の大合唱、手拍子とハレルヤ・アーメンの叫び……

のものは日本の霊性の奥深い大聖歌『人に捨てられ』に収斂したのでした。愛する諸兄弟にこの歌詞の再読三読そして深く長い黙想を求めます。

日本ホーリネス運動の勃興

期に、このような歌詞がこの

ようなリズムのもとに与えられ、会衆が手を叩いて大喜び

で歌い合ったこと、これはすでに奇跡そのものです！

連合四十年の旅路のいま、

主が連合に願ひ求めておられることをひしひしと感じさせられます。『素裸になって、

ホーリネスの源流（やれ賜物だ、いや御言だ、などという

区別のなかった、高揚した祈りと強力な聖霊という原点）

に帰って欲しい』

悦びの聖霊に満たされて

成長し、聖霊の実を結べ

右は第四説教の論旨です。

その骨子を以下に整理して報告します。なおここの「悦び」は「愛・喜び・平和……」

という九項のひとつではなく、

救い出され神に従う身とされていま聖霊の導きを載っている大恩寵への喜びです。

一、悦びの土壤

純粹な、混合物のない福音によって救われること以外に

真の悦びはない。「福音のみ」

の確信がないのは「聖霊の導きのみ」に服することができないからである。救出の瞬間

に「聖霊の導き」が直接する

二、悦びの発芽

導く悦びの聖霊によって、

神をアッバ父よと呼んで祈ることができるようになった。

三、悦びの成長

悦びの聖霊によって与えられた良心にのみ従う平安、神

と人に愛を尽くし抜く平安、

そのような「霊の自由さ」の

伸びやかな悦び。第二説教の

鍵言葉、第二コリント七章十一節前の深い黙想を求めます。

四、悦びの結実

御霊の実（ガラテヤ五章二二〜二三節）

これは「信仰による救出」

に「聖霊による善きわざ」が

直接して始めて可能（第一説

教の強調点、ハイデルベルク

信仰問答問八六参照；報告子

注・ジョン・ウエスレー説教

五三・下・二四二頁参照）

文責：大野伝道所・佐々木寛治

時の声

八月十五日前後のマスメディアは、戦争に關した情報、番組が多く、平和を願う切実な声が活字と音声、映像から聞こえ、見えて来た。

戦争から学んだ事は、聖戦はない事、戦争は、敵味方関係なく掛け替の無い人命を奪い、環境、財産を破壊して何一つ善なるものは生まない事である。

核兵器の無い世界への希望の声が聞こえて来た。唯一の被爆国の日本は、大きな責任と使命がある。核の傘や抑止力などと言う時ではない。

日米同盟を破棄して沖縄だけでなく本土から駐留米軍はお帰り頂いて平和憲法、平和国家の実を内外に示すべきである。

『剣をとる者はみな、剣で滅びる』との主のお言葉を、真摯に受け止めて、防衛費を医療、福祉、教育など国民の平和と文化のために用いるべきである。

消費税を云々して敗北したら消費税を云々が消えた。それは消費税を上げる前にしなければならぬ事がある事が解っているからである。

為政者をしつかりチェックして本當の我々国民の代表を国会に送りたいものである。

第四十回夏季聖会報告

日本福音教会連合、創立四十周年記念聖会の第四十回夏季聖会は、久しぶりに和気藹々とした会場で、八月三十一日（火・木）に、特別講師に、郷家一二三先生（日本ホーリネス教団委員長、坂戸キリスト教会牧師）をお迎えして開催されました。

一、記念聖会に相応しい講師
郷家一二三先生は、私たち連合の信仰の源流である、日本ホーリネス教団であり、その委員長であられる事。先生が救われて四十年の記念の年であられる事。

四回の聖会ご用は、「四十年導かれた主を覚えよ」（申命記八章一〜二〇節）。「みこころに添った悔い改め」（Ⅱコリント七章五〜一六節）。「全てを尽くして主を愛せよ」（マルコ十二章二八節〜三四節）。「聖霊が結んで下さる実」（ガラテヤ五章二二〜二三節）と、各聖会メッセージは四十周年記念聖会に相応しい、恵みと祝福に満ち溢れ、出席者一同は御言と御霊様に教えられ、お取扱いを受け、慰めや励ましと共に聖霊様に満たされました。

二、記念聖会に相応しい聖会
特に、感謝会
第一聖会の戸叶誠先生、早



監事にも触れられ、各自の関係者も含めて黙祷しました。記念品贈呈は、特別講師の郷家先生から始めて、吉野勝栄先生長女、石井頌子姉、吉野先生が牧会された広島平和教会から出席の中村孝治兄、通代姉と関係者から進んで連合の諸教会に贈呈されました。

主に導かれて 美浜集会所

大川 百合子

第四十回夏季聖会と連合創立40周年の記念感謝会に出席することが出来感謝の気持ちでいっぱいです。今春には聖地旅行の恵みにもあずかり二重の喜びでした。連合の先生方が40年間の思い出や歴史を語られました。私の信仰の道も連合の40年間とほぼ一致しているということに気が付きました。いつも何げなく参加していた聖会ですが、今回は自分自身の信仰生活を振り返り40年の区切りを味わい又新たに前進することが出来たような清々しいすっきりとした気持ちになりました。

特に、感謝会プログラムは、連合全教師による讃美が捧げられ、加藤信治先生の挨拶式が感動の中に行われました。太田先生から、連合創立四十年の歩み報告は、連合のルーツと歴史、発足の経緯、連合の三本柱、四十年の諸行事、活動が報告されました。召天者追悼は、連合の教師、信徒理事だけでなく、会計、

聖泉キリスト教会から、美しく編んだ十字架のおしりと絵葉書贈呈も大きな感謝でした。プログラムには無い、幼子、子供の特別讃美があり、連合の将来に大きな期待がもてました。主と諸師、愛兄弟の皆様に心から感謝申し上げます。（文責、生水編集子）

守にしている教会のお話や食事のメニューについての会話等暖かいお人柄に接することが出来ました。思えば三年前の聖会中に、亀谷先生が入院そして帰京後間もなく天に召されたことですが、夏季聖会は亀谷先生を忍ぶ時期ということになってしまいました。先生亡き後は細々と美浜集会所を守っていますが先生の偉大さを思い知らされております。しかし神様は残された私達をお見捨てになるはずはなく、それぞれにふさわしい信仰の道すじを備えて下さっております。

「40年導かれた主を覚えよ」という題で受洗された時の証しを語って下さいましたがあきつぱい自分が信仰だけは40年続いたと、18歳で受洗して現在58歳でゴーヤですとユーモアも交えてのメッセージは猛暑もふき飛ばす充実した時間でした。二日目の夕食時に、「こよろしいでしょうか」と私の隣りの席にお座りになり留

「あなたの神、主がこの40年の間、荒野であなたを導かれたその全ての道を覚えなければならぬ」との聖句を胸に前進していきたいと思えます。「わたしは常に主をわたしの前に置く」詩篇十六・八

新たな出発点として

湘南教会 牧師 加藤 信治

連合創立40周年を祝う聖会の時に按手礼を受けることができたのは、神の摂理、大きな神の恵みという他はない。正教師試験の受験資格を与えられて、10年が経った。日常の業務をこなすことに追われ

て、課題の準備をすることに時間を割けないパターンができていたが、なぜか今年はやらざるを得ない圧力をいただいた。4月から6月まで湘南教会の聖餐式は停止された。教会

いのちの雫

益田福音教会 牧師 中島 政幸

「あなたは、自分がエジプトの地で奴隷であったこと、そして、あなたの神、主が力強い御手と伸べられた腕とをもって、あなたをそこから連れ出されたことを覚えていなければならない。」

申命記五章15節(新改訳) これは献身の時に与えられたみ言葉です。神学校に入った時に同級生から聞いたのは「献身というのは、義理と人情と少々のみ言葉だよ」と言う言葉でした。本人は半分ふざけて言っている感じでしたが、確かに送り出して下さった教会、教団の期待に答える事が求められているのは事実です。実際に現場に出たおつかったのは人間関係の難しさでした。私としては神様と与えられたみ言葉に従って歩んで下さいれば大丈夫だと思いが、未熟な事もあって失敗の連続でした。そしてやっと運まきながら、人は救われたからと言ってすぐに神様中心に歩めるのではなく、お互いの信頼関係の中で神様の



員に了解を頂いて、信治師が正教師試験に通る見込みが立つまで聖餐式を行わないという事になった。これ以上は延ばせられないという圧力がかかったのだ。また私の弟和

第40回夏季聖会に感謝

徳山キリスト教会
牧師 渡辺 隆

今年連合40年記念夏季聖会は主題の申命記8章2節の様

特別講師の郷家二三先生の聖会毎に語られるメッセージの中で主の真実や愛とめぐみによる私たちの歩みや生活現場での導きを明らかにしてくださり、ただただ感謝が溢れるばかりでした。

生兄にもずいぶんお世話になった。兄の正教師試験が進まないことを憂えて、論文や説教を書くことについて強力なアドバイスや介入をしてくれた。また様々な方向から進めざるを得ない雰囲気が出てきた。連合の理事の先生方を初め多くの方々にご心配を頂き祈っていただいた。申し訳なくも感謝申し上げます。

40年前と言うと、私が中学2年の頃、岡山にいたが、ちょうど両親に反乱を起こし、教会へ行くのを止めてしまっ

加えて気づかされなかった主の愛の導きに驚くばかりありません。なんと一方的で憐れみ深い愛を主は私たちの歩みや生活現場の至る所で私たちの気づく気づかない関係なく肅々と主のみこころのままにしてくださいましたかをあらためて教えられ主を崇め讚美し礼拝するばかりです。

この主の愛による導きがイスラエル40年の荒野の歩む中

なつて吹き出し、わが道を歩き始めたのであろう。親もたいへんだつたらう。それから結婚を機に大阪で教会に戻り、31才で受洗、37才で献身に導かれた。

私が救われたのみならず、「あなたもこの幸いを喜びを受けられることができますよ」とお伝えすることのできる幸いを感謝します。

いつもイエス様がともに

春日部福音自由教会
岡田悦子

四月の連合のイスラエル旅行に続いて第四十回夏季聖会にも出席することができ、感謝でいっぱいでございます。

連合の歩み四十年は奇しくも私の信仰の歩みと重なります。イスラエル民族の荒野の四十年のごとく、今年還暦を迎えます私の人生においても神様は様々な所を通され、自分が主であることを示して下さいました。

この僕も連合40年のうち約20年の間末席に加えていただき主と敬愛する先生と愛見姉に、あらためて感謝します。

紛争に明け暮れる大学で、自分を見失いそうになっていた時にイエス様に会いました。

言葉の真実の体験を通して、人との信頼関係から神様の信頼関係へと変わっていくことが必要なのだという事を今更ながら知った次第です。

世の奴隷であった時も、今の日々の生活の中でも、又これからの信仰生活の中でも、目には見えなくても神様が共にいてくださる事を人を通して教えて下さっているのです。

のイエス様の悩み苦しみを知り、イエス様だけがこの悩み苦しみを分かち下さるのだと示されました。ふたりは今神様の御許で安息を得ているという安心感があります。天の御国での再会を待ち望んで

聖会の恵み

江尾キリスト教会

稲田陽子

今年の夏季聖会は、特別に「連合創立40周年記念感謝聖会」や加藤信治先生の按手礼式も行なわれ、深みと重みのある聖会となりました。40年の長きに亘って継続された聖会は多くの方々のお祈りと献身的なご奉仕の中で、主が成し遂げて下さっている事を実感しました。

大山聖会の時代、私は度々聖会の案内を載いていたにも拘らず、職場の仕事を優先し参加の多くは日帰りで、後にテープを拝聴するという、極めて消極的な参加に留まっておりました。

退職後、今から7年前に、今回と同じ鶴飼谷温泉で開催された聖会に導びかれましたが、その時も部分参加しか出来ませんでした。

その翌年から体調を崩し5ヶ月間の入院を余儀なくすることになりました。医師から

おります。

私の荒野の四十年、いつもイエス様がともにいてくださいました。これからもイエス様を信じて地上の人生を歩んで行きたいと思えます。

主に導かれて

鴻南福音教会

牧師 阿部孝子

これまで「第何回聖会」ということをあまり意識せずに聖会に臨んでいた私ですが、今年の「第四十回聖会」に居合わせ、神様の不思議な御手を感ずることができました。

山口福音教会に属していた私は「第四回聖会」に、母と

さらにこの度の聖会にも出席しました妹と友人と五人で出席しました。この時母が、前回出席した時は〇回だったのに、どうして回数が減っているのですか?と年長者に尋ねたところ、信徒の立場で考える必要のないことと一括されたことを今でもよく思い出します。連合が新しくなつて四年目のことだったのです。(三十周年記念誌掲載の、その時の聖会の写真に私の姿もありました)

私たちの信仰生活の中で、救い主への目を向けて、それぞれの教会で歩みが続いていくことで十分だと考えていた私ですが、この度、改めて「つながり」「きずな」「歴史」

ル記……」としっかり歌っていた姿を見て感動し、将来に希望を与えられました。「宣教会」で郷家先生が語

の大切さを覚えることができました。

「あなたがたの神、主がこの四十年の間、荒野であなたを導かれたそのすべての道を覚えなければならぬ」(申8:2)

前述の信徒としては知る必要のないことといわれた連合になった理由を知らなくても、与えられる恵みに大きな違いはないでしょう。けれども、神様の選びの歴史を知る時に、私たちはより一層、一人ひとりが福音宣教の担い手としての意味を覚えることになると思います。

今、私は、連合としての歩みを見る中で、一人では味わうことのできない深い神様の摂理を知り、そこに置かれてある「凄さ」を知りました。今になって改めてやっと分かった恵みを、さらに続いて作られていく連合の歩みの中で証人となつていく者の一人でありたいと願っています。

られた「全てを尽くして主を愛せよ」のメッセージが特に印象に残りました。この度の聖会を心より感謝しています。

報告・案内

◆茶屋町復活教会(戸叶誠牧師)の岡田哲夫兄(76歳)

は、五月二二日(土)愛する主の御許に召されました。ご遺族の上に主の慰めをお祈り致します。

◆関東地区協議会の牧師会が、六月七日(月)日本弟子たちの教会(朴永信牧師)で行われました。

◆米子キリスト教会(倉賀野攻牧師兼牧)の原田祥子姉(68歳)は、七月八日(土)愛する主の御許に召されました。ご遺族の上に主の慰めをお祈り致します。

◆熊毛キリスト教会(石井敬子牧師)では、六月二七日(日)の礼拝は、藤村治先生(下松めぐみ教会牧師)

*七月二五日(日)の礼拝は、瀬孝宣先生(大内福音教会牧師)がご用されました。岡山中央基督教会(倉賀野攻牧師)では、七月四日(日)稲田敏朗先生(江尾キリスト教会牧師)をお迎えして一日聖会をされました。

*七月十九日(月)サマー・バイブル・スクールを、和気鶴飼谷温泉で行いました。

*八月十二日(木)米倉昭夫

兄(75歳)が、愛する主の御許に召されました。ご遺族の上に主の慰めをお祈り致します。

◆湘南教会(加藤信治牧師)では、七月二三日(金)CSデイキャンプをされました。

◆聖泉キリスト教会(三浦愛牧師)では、八月二〇〜二一日(金〜土)CS夏休みキャンプをされました。

◆関東聖会ご案内
九月二三日(木)午前10時から午後一時からの二回講師、加藤信治師(湘南教会牧師)他

◆日本福音連盟常任理事会が九月二一日(火)ウェスレアン・ホーリス教団、浅草橋教会(黒木安信牧師)で行われます。太田正信師(連盟常務理事)出席します。お祈り下さい。

◆日本福音教会連合理事会が十月十二日(火)岡山中央基督教会で行われます。お祈り下さい。

◆日本福音連盟理事会が、十月二五日(月)大阪ガーデンパレスで行われます。倉賀野攻師、太田正信師が出席します。お祈り下さい。